

## 「総合特区制度」に係る提案の提出について

国の「総合特区制度」のアイデア募集について、9月21日に次のとおりアイデアを提出した。

### 1 特区について（詳細は別紙のとおり）

#### (1) ハイパーコンビナート水島特区（国際戦略総合特区）

企業間連携による生産効率化への先駆的取組や高付加価値型原料の開発、水島港の機能強化などを一層加速し、アジア有数のコンビナートとしての国際競争力強化を目指す特区

#### (2) 岡山グリーンバイオマス特区（地域活性化総合特区）

真庭市での木質バイオマス事業の先進的な取組と県北部の豊富な森林資源を活かし、バイオマス産業と林業を共に振興するビジネスモデルを確立し、森林・林業の再生モデル地域を目指す特区

#### (3) 革新的医療フロンティア岡山特区（地域活性化総合特区）

本県の優れた医療技術、国内トップレベルの遺伝子治療や分子イメージング等の分野での先進的な研究実績を生かし、先端的医療の地産地消サイクルの創出を目指す特区

### 2 今後について

来年度に予定されている国の正式募集に向けて、関係団体や企業、市町村等と連携しながら、必要な規制緩和や支援措置、具体的な事業内容等について検討を進める。

### <参考>

#### 「総合特区制度」について

「国際戦略総合特区（仮称）」と「地域活性化総合特区（仮称）」を想定。

#### 1 「国際戦略総合特区（仮称）」

- ・我が国全体の成長を牽引し、国際レベルでの競争優位性を持ちうる地域を対象。
- ・我が国経済の成長エンジンとなる産業、外資系企業等の集積を促進し、民間事業者等の活力を最大限引き出す上で必要な機能を備えた拠点の形成を目指す。

#### 2 「地域活性化総合特区（仮称）」

- ・地域の知恵と工夫を最大限活かし、地域資源を最大限活用した地域力の向上を目指す。

## ハイパーコンビナート水島特区

## 【現 状】

水島コンビナートは、西日本最大の素材供給拠点として、国内最大の石油精製能力を誇る製油所を有し、全国トップクラスのエチレン生産能力や粗鋼生産量を誇るなど、国内有数のコンビナートであり、海底パイプラインによる原料等の相互融通システムなど企業間連携による生産効率化や高付加価値型素材の製造等の先駆的な取組が行われている。

また、コンビナートの海上物流を担う水島港は、鉄鉱石輸入量全国一を誇るほか、生産拠点の水島地区と物流拠点の玉島地区の連携強化を図る新高梁川橋梁や水深12mの耐震強化岸壁等の整備が国直轄事業として進められている。さらに、県は、穀物の「国際バルク戦略港湾」への選定を目指すなど、一層の機能強化に努めているところである。

## 【目指す方向性】

水島コンビナート企業全体を一つの企業にみなした「バーチャル・ワン・カンパニー」による強固な企業間連携に取り組み、企業間でのエネルギーの共有化や原材料の相互融通等を実現するとともに、メガソーラーなど再生可能エネルギーの導入を進め、コンビナート全体で高効率かつ低炭素型の生産基盤を構築する。

また、電池材料などの高付加価値素材の供給・開発拠点化、新エネルギーや次世代自動車関連など成長分野の産業集積を目指す。

さらに、コンビナートの海上物流の役割を担う水島港における航路の増深、岸壁の整備や効率的な運航の確保により、国際競争に対応可能な事業環境を構築する。

このように、①高効率化、②低炭素化、③高付加価値化、④新たな産業集積、⑤インフラの機能強化の5つの戦略に取り組み、国際競争力を高め、日本を牽引するアジア有数のコンビナートを目指す。

## 【対象地域】

倉敷市

## 【主な規制緩和・支援策】

- ・コンビナート内企業間の電力の融通に係る電気事業法の規制の緩和
- ・コンビナート内企業間のオフガスの融通に係るガス事業法の規制の緩和
- ・巨大船の航行規制の緩和
- ・ICタグによる物流効率化を目的とした電波の使用に係る電波法の規制の緩和
- ・誘致企業の法人税の減免
- ・低炭素型事業に関する設備投資に係る税制優遇

岡山グリーンバイオマス特区

【現 状】

県北部は、豊富な森林資源に恵まれるとともに、西日本有数の木材関連業者の集積地域であり、真庭市における、バイオマス集積基地の整備や新素材・エネルギー利用等の先進的な木質バイオマス事業、西粟倉村の百年の森林事業（共有の森ファンド等）など、森林・林業の再生に向けた、木質バイオマスの多様な取組が展開されている。

【目指す方向性】

県や真庭市、県内企業・大学等の産学官連携で進めている、間伐材や端材等を超微粉碎技術により「ナノファイバー」などの高付加価値新素材に高度利活用する先進的な取組を中心として、木質ペレットやチップ、バイオマス発電など、用材を含めた木質バイオマスのカスケード利用（多用途・多段階の利用）を促進するとともに、地域内でこれらの取組を波及させる。

また、効率的な間伐等により豊富な森林資源を保全・活用するとともに、公共建築物等への積極的な利用など県産材の利用を促進する。

このような取組を通じて、バイオマス産業と林業を共に振興するビジネスモデルを確立し、グリーンバイオマス産業クラスターの形成による森林・林業の再生モデル地域を目指す。

【対象地域】

真庭市、津山市、新見市、西粟倉村等の県北部市町村

【主な規制緩和・支援策】

- ・小出力発電設備の要件拡大による電気事業法の規制の緩和
- ・木質バイオマス事業への転用に係る農地法の規制の緩和
- ・木質バイオマス製品の製造工場に対する固定資産税の減免
- ・大規模建築物の防火のための構造制限に係る建築基準法の規制の緩和
- ・林業の生産性向上や県産材の利用促進に向けた財政支援

革新的医療フロンティア岡山特区

【現 状】

本県の医療水準は、岡山大学を中心とした高度な臨床医療技術、臓器移植や遺伝子治療等の先端医療分野での優れた研究実績等により、国内トップクラスにある。

また、人工関節、ステント等の医療機器分野や標的医療分野で、企業や大学発ベンチャー企業も育ちつつあり、H23年4月岡山大学内に開所予定のおかやまメディカルイノベーションセンターによって、創薬や医療機器開発等を促進する環境の一層の充実が見込まれる。

【目指す方向性】

本県の優れた医療水準等を最大限に活かし、薬事法規制の特例、研究開発費の優先的な配分、混合診療の特例的实施等の規制の特例措置と支援措置を行うことで、産学官が連携して「先端的医療フィールド」を構築する。

これを通じて、①創薬や医療機器の産業が県内に集積し、②岡山発の先端的な医薬品や医療機器、医療技術等が生み出されるとともに、③県民が高度で先進的な医療等を受けられる「先端的医療の地産地消サイクル」の創出を目指す。

【対象地域】

岡山市、倉敷市

【主な規制緩和・支援策】

- ・ 研究開発や治験に関する薬事法等の規制の特例措置
- ・ 国庫補助金を受けた産学官共同研究拠点施設の所有権移転等の特例措置
- ・ 創薬及び医療機器開発に係る事業用資産の買い換えの場合の課税及び減価償却の特例措置
- ・ 岡山大学病院及び川崎医科大学附属病院での保険診療適用外の先進的な医療における混合診療（保険診療との併用）の特例的实施
- ・ 産学官共同研究拠点施設を利用する研究開発への研究費優先配分